

保護者 様

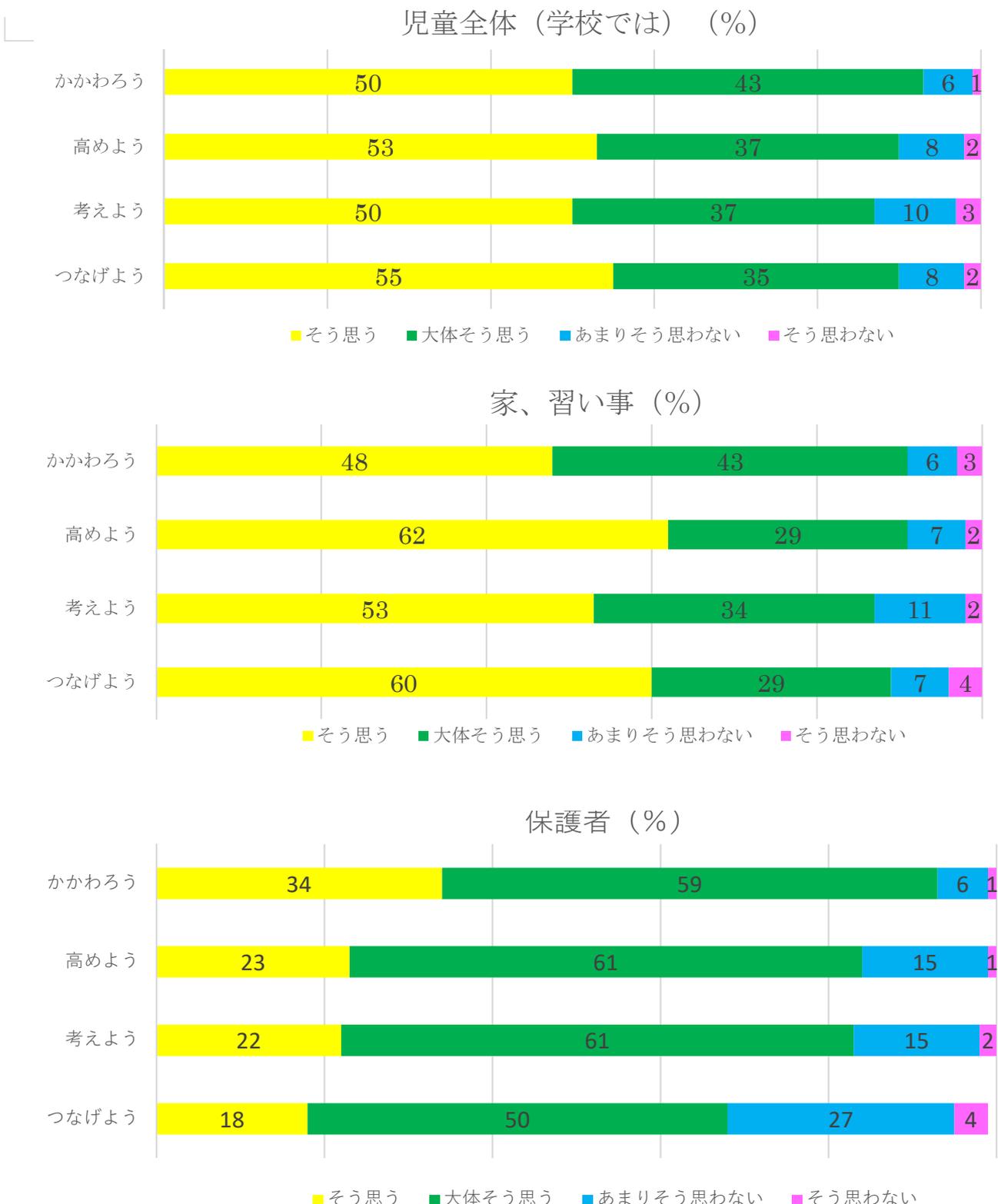
浜松市立大平台小学校長 安藤 靖之

「学校に関するアンケート」結果報告

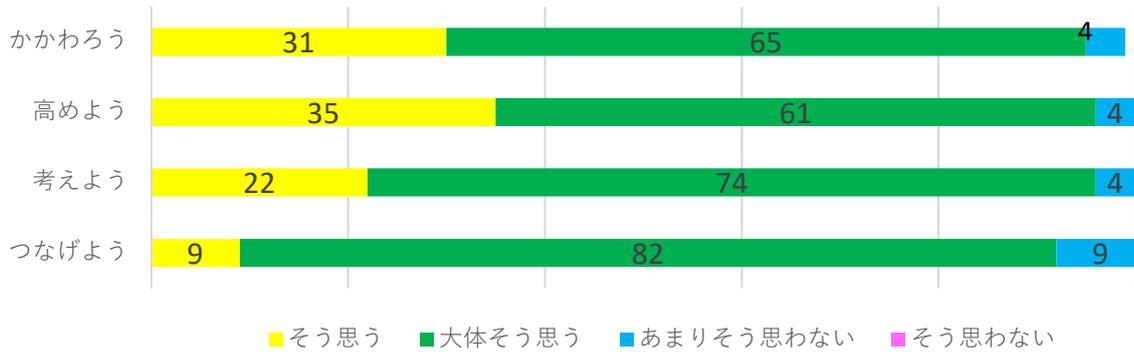
～御協力いただき、ありがとうございました～

厳冬の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、学校教育への御理解・御協力をいただきありがとうございます。

さて、2学期末には「学校に関するアンケート」に御協力いただきありがとうございました。集計結果は以下になりました。いただいた評価は、今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。今後とも、御理解・御協力をお願いいたします。



職員 (%)



【学校教育目標】

未来を切り拓く わかばの子

かかわろう

(人間関係・社会形成能力)

○よりよい人間関係を築く力
相手の思いや立場を尊重して、話し合ったり活動したりする

高めよう

(自己理解・自己管理能力)

○目標に向け、調整・継続する力
何事も前向きに挑戦し、自分を高めるために粘り強く努力する

考えよう

(課題対応能力)

○課題を発見し、解決する力
疑問や気付きから課題をもち、自分なりの考えで解決したり、学びを振り返ったりする

つなげよう

(キャリアプランニング能力)

○自分らしさを大切にし、伸びる力
なりたい自分や将来やりたいことを意識し、自分のすべきことを積み重ねていく

【評価分析】

前期の評価と同様に、『かかわろう（人間関係・社会形成能力）』と『やってみよう（自己理解・自己管理能力）』については、90%以上の児童が「そう思う」「だいたいそう思う」と回答しています。「かかわろう」については、授業の中の様々な場面で、協働的な場面を設定することを積み重ねてきたことや、令和6年度から取り組んでいる「心の日（ソーシャルスキルトレーニング）」により、児童が、学級の中で、自然と友達と関わり合うことができるようになってきていることがうかがえます。また、「高めよう」については、各学年の行事や学習発表会、日々の学習を通して、子供たちが前向きに取り組み、目標に向かって努力できた実感できた結果ではないかと考えます。

一方、あまり評価が高くなかったものは『考えよう（課題対応能力）』や『つなげよう（キャリアプランニング能力）』です。学習の中でも、情報を収集したり、知識を得たりするだけでなく、その情報や知識を表現する場や、それを使って、実際にやってみる場などを設定していくことが大切です。

全ての項目において、「あまりそう思わない」「思わない」と回答している児童が10%前後いることにも着目しながら、教育活動を進めていく必要があると考えます。

保護者の皆様の学校評価アンケートの自由記述では、学校行事や教師の指導の在り方について御意見をいただきました。これらの御意見は、これから始まる来年度に向けた教育課程編成会議の中で、検討させていただきます。また、自由記述には、保護者の皆様より心温まる御言葉もたくさんいただきました。職員一同大変励みとなります。ありがとうございました。